

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	498 健康21推進事業	会計	01	一般会計
基本	01	款	04	衛生費
施策	3	項	01	保健衛生費
		目	01	保健衛生総務費
		細目	106	健康21推進事業
		細々目	01	健康21推進事業
基本計画該当頁		59		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 130900	評価者氏名	清水 健司	連絡先 22 - 9653 (内線) 2665
	名称 健康福祉部 健康推進室			

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市民 (対象件数)	豊かな人生が送れるよう、健康に関するアドバイスにより、健康保持の意識が向上する。
根拠法令・要綱等	伊賀市健康づくり推進条例
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
本年度事業内容	すべての市民が健康で快適な生活を送ることができるよう、生活習慣改善の必要性についての知識を普及・啓発し、市民一人ひとりの健康づくりを推進するために「健康づくり講演会」「健康まつり」を開催。 健康づくり講演会 平成19年7月29日(日) 午後1時30分から サンビア 4階 健康まつり 平成19年10月28日(日) 午前10時か
状況変化等	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
委託	事業内容	消耗品		(千円) 874	消耗品		(千円) 1,029	消耗品		(千円) 1,165	消耗品		(千円) 1,200	消耗品		(千円) 1,200	消耗品		(千円) 1,200
工事		その他		1,139	その他		564	その他		1,049	その他		1,050	その他		1,050	その他		1,050
進捗率 (%)		事業費計(A) 2,013			事業費計(A) 1,593			事業費計(A) 2,214			事業費計(A) 2,250			事業費計(A) 2,250			事業費計(A) 2,250		
事業投入人員		人件費(B)	0.2 人	1,440	人件費(B)	0.2 人	1,440	人件費(B)	0.2 人	1,440	人件費(B)	0.2 人	1,440	人件費(B)	0.2 人	1,440	人件費(B)	0.2 人	1,440
フルコスト (A)+(B)		3,453			3,033			3,654			3,690			3,690			3,690		

事業費(人件費除)の財源内訳

(A) 事業費	2,013	1,593	2,214	2,250	2,250	2,250
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	2,013	1,593	2,214	2,250	2,250	2,250
計	2,013	1,593	2,214	2,250	2,250	2,250
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
健康まつり参加者	人	目標 3000 実績 3000	目標 3000 実績 3000	3000	3000
健康づくり講演会実施回数	回	目標 2 実績 2	目標 2 実績 2	2	2

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
参加者のうち相談者、測定者数	相談者、測定者の増加は、健康保持の意識向上となる。	人	目標 231 実績 231	目標 250 実績 263	270	290

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	「健康日本21」「ヘルシーピープルみえ21」「健康21計画」において、市民の自主性・主体性を重視した「一次予防」的発想へと方向性を転換した計画となっており、「健康は自分でつくるもの」という思想の普及を市が推進するよう規定されている。このことから、健康まつり・講演会といった市民が楽しんで積極的に健康づくりを推進できるような体制が求められている。
有効性	3	白頭、測定できない機器を使用するので様々なデータが自分で確保できるので健康保持の意識向上につながっている。
達成度	3	目標達成はできているものの、時間に制限があり、測定できない人もいる。
効率性	3	環境フェスティバルと共同開催であり、コスト削減になっているものの、会場が毎年同じであり、会場選定が課題

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	まつり会場の屋外で、献血を同時実施。